



万代島地区将来ビジョン



2019年3月

新潟県、新潟市

新潟西港・水辺まちづくり協議会

1	はじめに	1
2	万代島地区の現状	2
3	万代島地区の問題点・課題	3
4	将来ビジョン	
	(1) コンセプト	4
	(2) 目指すべき姿（短期・中期・長期）	5
	(3) 実現に向けた取組（短期・中期・長期）	6
	(参考) 短期取組のイメージ	7
	中期取組のイメージ	10
	長期取組のイメージ	14

1 はじめに

万代島地区では、国際コンベンションセンター「朱鷺メッセ」や「市民市場（ピアBandai）」、「万代島多目的広場」のオープンなど、みなと空間を活用し、交流人口の拡大や地域の活性化が図られてきました。

新潟開港150周年を迎えることを契機に、新潟県と新潟市は、新潟市の都市機能の向上を図るため、まちづくりのランドデザインとなる「新潟都心の都市デザイン」を2018年7月に策定し、新潟駅周辺から万代地区及び古町地区、万代島地区へのまちづくりについて、県市が連携して取り組むこととしました。

本ビジョンは、「新潟都心の都市デザイン」を踏まえ、万代島地区の更なるにぎわい創出と活性化に向けて、関係者と将来像やその実現に向けた方向性を共有するため、県市協働で策定しました。策定にあたっては、新潟西港・水辺まちづくり協議会や地域住民、利用者、NPO法人、関係企業などの多くの皆様から万代島地区に対するご意見やにぎわい創出のアイデアを頂戴しました。

今後、行政、地域住民、民間企業が一体となってにぎわい創出につながる取組を推進し、本ビジョンのコンセプトである「人々が集い、にぎわいと新しい価値を創造する万代島」の実現を目指していきます。

また、社会情勢等の変化を踏まえ、その時代のニーズに合うよう、本ビジョンを見直していきます。

なお、本ビジョンは、今後の万代島地区が目指すべき姿を表したものであり、実施計画や事業を決定・拘束するものではありません。掲載の取組については、今後関係者間で協議・調整の上、実現に向けて進めていきます。

2 万代島地区の現状

万代島地区は、日本一の長さを誇る大河、信濃川の河口部に位置しており、県内有数の水産物の水揚げ基地であるとともに、新潟港のにぎわい・交流の中心となっています。

また、新潟市の都心部である万代・古町地区に近接した優れた立地特性を有するとともに、2003年にオープンした国際コンベンションセンター「朱鷺メッセ」や佐渡島との定期航路の発着点である「佐渡汽船ターミナル」、2010年にオープンした「市民市場（ピアBandai）」などが立地し、国内外の交流拠点となっています。

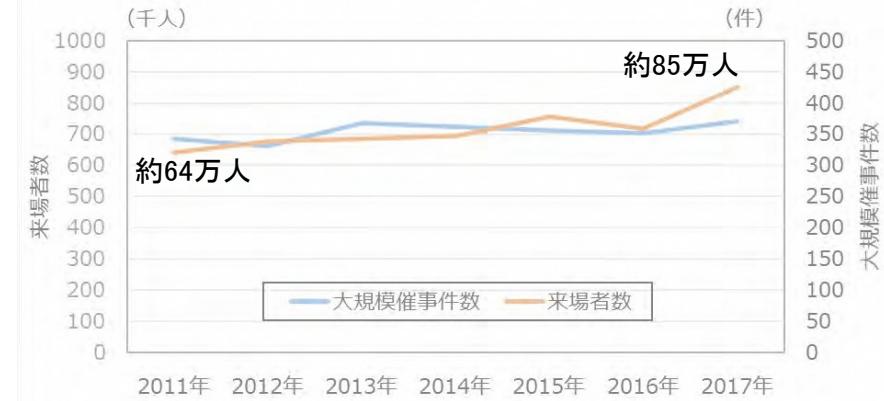
「朱鷺メッセ」の2017年度の利用者数は約85万人

「佐渡汽船」の2017年の乗降者数は約133万人（新潟～両津航路）

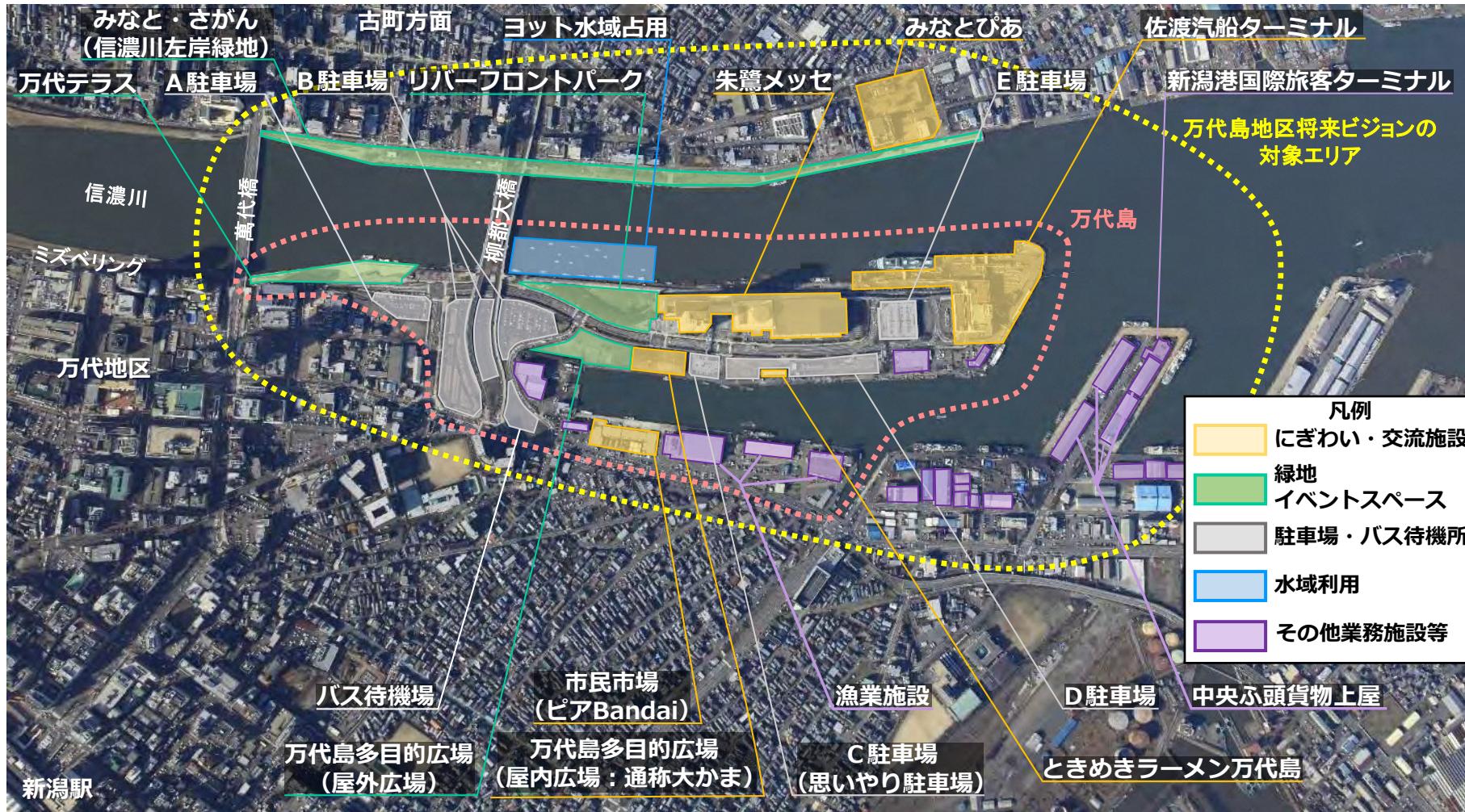
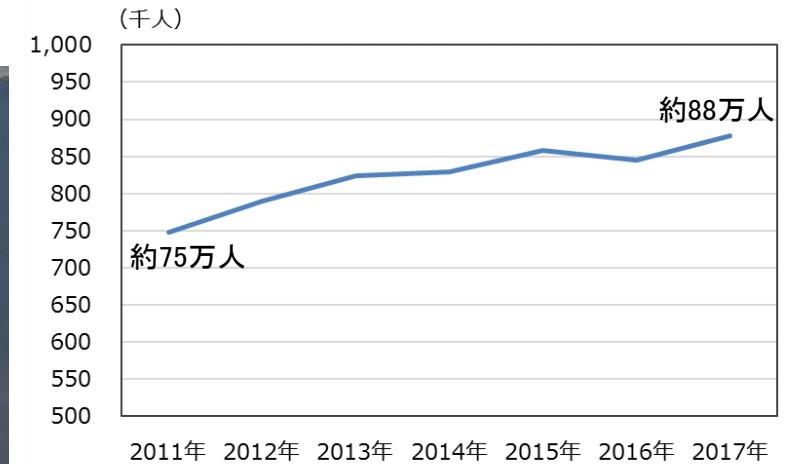
「市民市場（ピアBandai）」の2017年の年間入場者数は約88万人

その後も2015年に萬代橋と朱鷺メッセを結ぶ広場「万代テラス」、2018年には市が旧水揚場施設を改修したイベントや憩いの空間「万代島多目的広場」がオープンしました。これらの施設は「みなと」を核とした地域の観光・交流の振興によるまちづくりを進める「みなとオアシス新潟」として国より指定されており、万代島地区は、万代・古町地区と連携した新潟市中心部のウォーターフロントとして、更なるにぎわい創出と活性化が期待されています。

朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）利用状況



市民市場（ピアBandai）来場者数



万代島地区施設配置状況

2019年1月

各施設オープン時期

施設名	オープン時期
朱鷺メッセ	2003年5月
市民市場（ピアBandai）	2010年10月
万代テラス	2015年5月
万代島多目的広場（屋内広場：通称大かま）	2018年3月
万代島多目的広場（屋外広場）	2018年6月

3 万代島地区の問題点・課題

アンケート調査・ヒアリング・意見交換会等により、明らかになった万代島地区の現状を踏まえ、問題点と課題を次のとおり整理しました。

【問題点】

- ・ 朱鷺メッセから市民市場（ピアBandai）まで歩くには意外と遠い
 - ・ 新潟駅から万代島地区までのアクセスが悪い
 - ・ 万代シティや古町から万代島へ移動しづらい
 - ・ イベント開催時の交差点などにおける渋滞や、駐車場不足が発生
- ・ 水辺に背を向けて施設が立地しているため、せっかくのロケーションが活かされていない
 - ・ 朱鷺メッセはモダンなデザインであるが、周辺との景観に統一感がない
 - ・ 朱鷺メッセ以外に特徴のある施設が少ない
- ・ 商業施設や休息できる場所、楽しめる場所が無く、来訪者の滞在時間が短い
 - ・ 夜間や冬季でも楽しめるような施設・イベントが少ない
 - ・ 海を眺めながら食事ができる場所が少ない
 - ・ 未利用地が少なく、新規に施設整備を行うことが難しい
- ・ 万代島も含めた新潟西港の認知度が低い
 - ・ 新潟駅から万代島地区へのサインが少なく行く道が分かりづらい
 - ・ サイン等が外国人来訪者には分かりづらい



【課題】

- 「アクセス機能の強化」
 - ・ 万代島地区内の回遊性の創出
 - ・ 新潟駅とのアクセス性の改善
 - ・ 万代地区などの各拠点と万代島地区の周遊性の向上
 - ・ イベント開催時の渋滞解消・駐車場容量の確保
- 「みなと景観づくり」
 - ・ みなとらしさを感じられる空間の形成
 - ・ 景観の統一性や周辺地区との連続性の創出
 - ・ シンボリックな景観づくり
- 「にぎわい空間と憩い空間づくり」
 - ・ 若者が楽しめるアミューズメント空間やカップルや家族連れなどがゆったりと過ごせる憩い空間の形成による来訪者の滞在時間の延長
 - ・ 冬季や夜間も含めた日常的なにぎわいの創出
 - ・ 魅力ある飲食機能の拡充
 - ・ 既存施設の高度化・利用転換や、移転に伴う跡地の有効利用
- 「情報発信と人の誘導」
 - ・ 情報発信力強化による認知度の向上
 - ・ 新潟駅から万代島地区へ人を誘導するサイン強化
 - ・ サインの多言語化等による外国人来訪者への対応強化

【アクセス機能の強化】

誰もが訪れやすく周りやすい 万代島

・駅や万代地区・古町地区などの拠点や、周辺からスムーズに
来られるようになり、地区内も便利で楽しく周遊できるようになる

【みなと景観づくり】

**美しいみなととして市民に愛され、
来訪者を魅了する 万代島**

・地区全体が明治開港五港にふさわしい景観を有し、市民
に「みなとまち新潟」のシンボルとして愛され、来訪者を魅了
する地区になる

**人々が集い、にぎわいと
新しい価値を創造する“万代島”**

【にぎわい空間と憩い空間づくり】

水辺に憩い交流を楽しむ 万代島

・様々な水辺の楽しみや憩いの空間を提供し、万代地区等との
連動したにぎわいを創出することで、市民・来訪者が長時間滞在
したくなる

【情報発信と人の誘導】

魅力的でわかりやすい情報を発信する 万代島

・周辺地域とも連携しながら、「みなとまち新潟」の歴史や文化、
イベント情報等を多角的に発信する
・わかりやすい情報を提供することで、誰もがスムーズに来訪できる

4 (2) 目指すべき姿 (短期・中期・長期)

関係者と連携しながら、以下の姿を目指します。実現にあたっては、コンセプトをもとに、他の関連計画（港湾計画等）との整合性や関係者との調整を勘案しながら、短期（5年）・中期（15年）・長期（30年）の取組を進めます。 ※中・長期の取組については、社会情勢を踏まえ随時見直しを行っていきます。

<短期>

既存施設を中心に、喫緊の課題に対応するため、他の関連計画への影響が少なく、関係者との調整が比較的容易な取組から進める

【全体像】

地区内の各施設間や駅とのアクセス性が向上し、既存施設を活かした整備により、新たな来訪者が増加している

【アクセス機能の強化】

○ 入り江を挟んだにぎわい施設間や駅とのアクセス性が向上している

【みなと景観づくり】

○ みなとらしい景観演出により、来訪者を惹きつけている

【にぎわい空間と憩い空間づくり】

○ 水辺空間にオープンカフェ等が出店され、にぎわいをみせている

【情報発信と人の誘導】

○ 多様な情報を分かりやすく発信し、市民はもちろんのこと、インバウンドにも認知されている。また、駅からのアクセスが分かりやすい

<中期>

短期の取組を強化するとともに、抜本的な課題を解決するための取組に着手する

万代地区などの他拠点との周遊性が向上し、景観と調和した新たな商業施設等が立地され、国内外の多くの人を訪れにぎわいが増している

○ 地区内のスムーズな移動が実現するとともに、他地区との周遊性が生まれている

○ 水辺を意識した施設配置などにより、統一感のある景観が創られている

○ 既存施設の配置転換や商業施設の出店により、より多くの人を訪れ楽しんでいる

○ 一元的な情報発信により、国内外の人が興味をもっている。また、駅からのアクセスが楽くなる

【前提条件】

港湾計画（2015年改訂）に基づき、中央ふ頭の貨物上屋が移転している場合などを想定している

<長期>

抜本的な課題に対応するため、他の関連計画に基づく施設整備や機能再編を前提とした、実現に長期間を要する取組を進める

既存施設の大規模な移転・再編を行い、にぎわい・交流の核となる新たな施設が立地し、都市内交通の高度化とともに全国有数の国際交流拠点となっている

○ 新規施設の需要に対応した都市内交通等の高度化により、来訪者の利便性が大幅に向上している

○ 水域施設の活用により、みなとを感じられる空間となっている

○ 既存施設移転後の空間が有効に活用され、国際交流やにぎわい拠点としての機能が強化されている

○ 有数のウォーターフロントとして国内外の人々に幅広く認知されている

【前提条件】

案1：新潟港将来構想（2014年策定）に基づき、佐渡汽船ターミナルが移転している場合を想定している

案2：上記に加え、既存民間施設も移転している場合を想定している

4 (3) 実現に向けた取組 (短期・中期・長期)

短期

中期

長期

アクセス機能の強化

- ① **朱鷺メッセ・大かま～市民市場のアクセス性の向上**
 - (案1) 浮棧橋等(船用)の整備と水上バスの活用(渡し舟)
 - (案2) 小型低速電気バスの導入
 - (案3) 入り江を跨ぐ歩道橋整備
 - (案4) 歩車分離(歩道と自転車走行空間の整備)
 - (他) 地区内におけるレンタサイクルの拡充
- ② **駅から万代島地区へのアクセス改善**
 - ・自転車走行空間整備(花園ルート)
 - ・駅から万代島地区までのレンタサイクルの拡充
- ③ **周辺拠点とのアクセス改善**
 - ・信濃川左岸(入船地区・古町地区)、右岸(万代地区・沼垂地区)との回遊ルートの構築(バスルートの改善や水上バスの延伸、レンタサイクルの拡充等)
- ④ **万代島地区の渋滞対策**
 - ・交差点での渋滞解消(朱鷺メッセ側歩道に屋根を設置し歩行者を誘導)

- ⑤ **万代テラスへのアクセス改善**
 - ・万代テラスへの道路横断施設の整備
- ⑥ **駐車場の拡充と効率化**
 - ・朱鷺メッセ付近の駐車場等の立体化(市民市場と併設)
- ⑦ **万代島地区内のアクセス性の向上**
 - ・小型低速電気バス運行エリアの拡大(短期で導入の場合)
- ⑧ **クルーズ寄港場所から市内等へのアクセス改善**
 - ・中央ふ頭水上バス発着場の設置
- ⑨ **万代島地区の渋滞対策**
 - ・歩車分離(A駐車場付近交差点等に横断歩道橋整備)

- ⑩ **万代島地区内の袋小路の解消**
 - ・万代島から中央ふ頭方面へつなぐ道路橋等の整備
- ⑪ **軌道系の交通システムによる都市内交通の充実**
 - ・定時性や輸送力の高い軌道系の交通システム(LRTやモルルール等)による都市内交通の充実
- ⑫ **万代島とみなとびあ周辺を結ぶアクセスの強化**
 - ・万代島とみなとびあ周辺を結ぶシンボリックな橋梁の整備(歩行者・自転車・小型低速電気バスの通行を想定)
- ⑬ **万代島を周遊できる歩行者、自転車道の整備**【案2のほうの延長が長い】
 - ・万代島を周遊できる遊歩道の整備

みなと景観づくり

- ① **県民・市民や来訪者を惹きつける景観づくり**
 - ・周辺でのライトアップと連携し、萬代橋から万代島まで続く光のイルミネーション等の演出
 - ・マリナー機能の移転(入り江内へ)
 - ・みなと周辺の景観の規制誘導方策の導入
 - ・みなとを感じることができる統一デザインの方針導入(建物や照明等)
- ② **みなとまち新潟のまちづくりに資する景観づくり**
 - ・みなとまちを演出するファサード(建築物の正面デザイン)等の景観整備
 - ・施設の移転や誘致の際に水辺を望む施設配置への誘導
- ③ **みなとを感じる空間の更なる拡張**
 - ・マリナー機能の拡張

にぎわい空間と憩い空間づくり

- ① **みなとオアシスの取組の充実(ミズベリング等と連携)**
 - ・飲食店などの仮設店舗が出店しやすい環境づくり(電源及び給排水設備等)
 - ・屋台、キッチンカー、オープンカフェ等の展開
- ② **水辺景観を活かしたにぎわい空間の創出**
 - ・船上カフェ等の誘致
- ③ **水域の有効活用(四季を通じて楽しめる)**
 - ・ウォータースポーツの場の提供
 - ・既存施設が連携したイベントの開催(水上ライブや浮かぶモニュメント等)
- ④ **既存施設の有効活用**
 - ・大かまの機能強化
 - ・新潟県港湾資料室(佐渡汽船ターミナル内)のリニューアル
 - ・ときめきラーメン万代島のラーメン店限定を解除し、他ジャンルの飲食店等の誘致
- ⑤ **市民市場の移転**
 - ・市民市場の万代島側への移転、及び跡地有効活用
- ⑥ **水辺景観を活かしたにぎわい空間の創出**
 - ・水辺が望めるレストラン等の通年施設の店舗誘致(リバーフロントパーク)
- ⑦ **エリアマネジメントの導入**
 - ・万代島地区の有効活用を促進する、民間主導のエリアマネジメントの仕組みの導入
- ⑧ **中央ふ頭の貨物上屋跡地の有効活用**
 - ・小型クルーズ船等の受入環境整備
 - ・貨物上屋をリユースしにぎわい施設として活用(貨物利用移転後)
- ⑨ **立体駐車場に伴う有効活用**
 - ・万代テラス付近の駐車場立体化による水辺が見えるカフェ等の誘致
- ⑩ **国際交流拠点としての商業・文化の拡充**
 - ・朱鷺メッセと連携した国際交流イベント等の空間として利用でき、水辺が360度望めるフードコート等を兼ね備えたにぎわいの核となる複合施設の誘致
- ⑪ **民間施設移転・埋立後の有効活用**【案2のみ】
 - ・アウトドアスポーツに親しめるショップやカフェ、レストランの誘致(入り江付近)
- ⑫ **入り江の活用(既存施設の移設後)**【案2のみ】
 - ・ウォータースポーツ(カヤック等)など水と触れ合うイベントの推進
 - ・船上ライブ等、入り江周辺施設から水辺側を見て楽しめるイベントの推進

情報発信と人の誘導

- ① **新潟駅から万代島地区へ人を導く案内看板の改善**
 - ・花園ルートにおける案内看板・ピクトグラムの検討・設置
 - ・案内板(新潟駅～万代島地区)の多言語対応
 - ② **万代島地区内の案内看板の改善**
 - ・案内板(万代島地区内)の多言語対応
 - ③ **朱鷺メッセや既存施設のイベント情報等の共有**
 - ・万代島地区関係者間のイベント情報等の共有
 - ④ **多様なメディアを活用した情報発信**
 - ・SNSやメディアを活用した最新情報の継続発信
 - ・西港区の個性としての漁港エリアの紹介
 - ・川湊ならではの自然豊かさ(鮭遡上・漁など)や歴史の発信
 - ・県内有数の国際交流拠点であり、みなとまち新潟の象徴としてのアピール(認知度の向上)
 - ・多言語対応の情報発信
 - ⑤ **新潟駅から万代島地区へ人を導く空間の創出**
 - ・花園ルートの歩きたくなる空間整備
 - ⑥ **万代島地区の各種情報の一元管理化**
 - ・エリアマネジメントと連携した各種情報の受発信一元化
- 短中期の取組を継続・発展